

会員大会準備委員会

委員長名：石井 紀彦

副委員長名：酒井 武士、田中 美登、中谷 さえ

委員名：飯塚 眞弘、川島 吉弘、齋藤 義博、兵藤 忠洋、宮本 泰三、村島 直丈

1) 事業報告

(I) 神奈川ブロック協議会会員大会を開催するための準備に関する活動

(a) 内容：2009年度神奈川ブロック協議会会員大会を開催するための準備に関する活動

(b) 時期：2008年1月～12月

(c) 開催場所：鎌倉市内及び神奈川県内

(d) 参加者：会員・入会希望者及び

神奈川ブロック協議会内各地青年会議所メンバー並びに市民

2) 感想

本年度、会員大会準備委員会は藤井理事長の掲げるテーマ「回帰・観照」のもと、青年会議所運動の原点に立ち返り、当会議所が会員大会を通じて市民に伝えたい運動の内容を、当会議所メンバーにて共有すると共に「鎌倉」という地域の皆様より理解と協力を得られるように準備し、より良い第37回会員大会の開催に繋がるよう、会員大会を開催するための準備に関する活動を行ってまいりました。

当委員会は、当会議所が会員大会を通じて地域に発信する運動の核となる主管 LOM コンセプトを作成し会員の意識と知識の向上を図ると共に、平塚で開催された第36回会員大会やさよならブロックにおいて第37回会員大会の PR 活動を行いました。また、これら活動を効果的に行うために当会議所ののぼり旗や PR 用横断幕、そして我等がまち鎌倉を感じていただけるような PR ビデオを作製いたしました。また、来年9月開催予定の第37回会員大会式典・メインフォーラムの開催予定施設といたしまして鎌倉芸術館を選定し、分科会・交流会の開催予定施設として鎌倉女子大学大船キャンパスのご協力を頂けるよう活動いたしました。

一年間を振り返りますと、当委員会のこれらの活動は、当会議所メンバーの意識と知識の向上に繋がると同時に地域の理解者の輪を広げ、市民意識の変革を推進する運動をより一歩推し進めるより良い大会開催の一助に繋がったと考えます。また、これらの活動が来年度の大会開催に向けた活動を支える基礎になると確信しています。

最後となりますが、当会議所ののぼり旗作製においてご協力くださった建長寺管長吉田正道様、分科会・交流会開催地として鎌倉女子大学大船キャンパスをお借りするためご協力くださった、鎌倉女子大学総務部長藪田早苗様、そして私が迷ったとき多くのアドバイスをくださった藤井理事長をはじめとする正副の皆様、委員会メンバーの皆様、そして、鎌倉青年会議所すべてのメンバーの皆様に深く感謝を申し上げます。一年間本当にありがとうございました。